

History and Culture

Chinese Language 2

Kensuke Yoshimori · PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

2 units 後期 火 5・6

(平成 19 年度以前の授業科目:『歴史と文化』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前)の授業科目:『中国語 (2)』)

Target) 全学共通教育中国語初級で身につけた中国語の能力を高め、実用として使いこなす事のできるよう、読解と聞き取りを中心にトレーニングを行う。

Outline) 教材に現代中国の社会や文化に関する記事を取り上げ、時事や現代文化に関する語彙力と速読の能力を養成する。特にインターネット等で探した、最新の中国についての記事を扱う。そのために必要な中国語サイトの閲覧方法、中国語ワープロの使い方などの知識も身につけてもらう。

Keyword) 中国語, 時事問題, 現代中国

Goal) 中国語の新聞やインターネットの記事が辞書を引いて読めること。指定する基本単語及び基本表現を覚え使いこなせることを目標とする。

Schedule)

1. 中国語の文法と表現 の復習
2. 日常生活で聞く中国語
3. 中国語のテレビ番組を見てみよう (リスニング練習)
4. 中国語のホームページの閲覧方法
5. インターネットの記事を読む (1-a)
6. インターネットの記事を読む (1-b)
7. 中国語の文法と表現 (2)
8. 中国語ワープロを打ってみよう (1)
9. 中国語ワープロを打ってみよう (2)
10. 中国語ワープロを打ってみよう (3)
11. インターネットの記事を読む (2)
12. インターネットの記事を読む (3)
13. インターネットの記事を読む (4)
14. 中国語 II の総復習
15. 後期学期末試験
16. 後期学期末試験講評

Textbook) プリント配布

Reference) 1 年次に使用した辞書及び中国語のテキストを必ず持参のこと。

Evaluation Criteria) 授業での発表、小テストと学期末テストの点数を総合して行う。

Re-evaluation) 原則無し。ただし受講状況に応じて再試験を行うこともある。

Message) 総合科学部学生は学部専門科目として登録すること。総合科学部以外の受講希望者はあらかじめ相談のこと。共通教育で中国語初級または中国語 (1)4 単位を履修済み、あるいは HSK3 級、中国語検定 4 級及びそれに相当する語学力を有していることが絶対条件である。従ってこれに該当しない学生には受講資格認定試験を行い、不合格の場合は受講できない。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221330>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Yoshimori (Office of Asian History, +81-88-656-7156, yosimori@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 月曜日16:30~ 17:30)

Note) 総合科学部全学生と医学部の平成 17 年度以前の医学部保健学科の入学生をのぞき平成 19 年度以前の授業科目:『歴史と文化 / 中国語 II』として 2 単位が認定される。総合科学部の平成 16 年度以前、医学部保健学科の 17 年度以前入学生は授業科目:『中国語 (2) / 中国語 (2)』として 1 単位が認定される。